

羽村市基本構想（案）の意見公募手続の結果について

羽村市基本構想（案）の意見公募手続を7月1日から7月30日まで実施し、8名の方から13件の意見がありました。受け付けた意見の要約と市の考え方をお知らせします。

No.	受け付けた意見（要約）	市の考え方
1	<p>基本構想策定の趣旨の冒頭、清らかで美しい多摩川と緑豊かな自然に恵まれた“羽村市”とあります。勿論、羽村で生まれ育った私に異論はありませんし、誇りに思っています。</p> <p>春の堰の桜並木、チューリップ畑の美しさは、他の市民の方に自慢できるものの一つです。</p> <p>5年ほど前に、市内で養老孟司先生の講演会がありました。先生の挨拶で「羽村という所はどういう所なんですか、まるでゴーストタウンの様じゃないですか」と言われました。先生は電車で来られ、羽村駅西口を降りられた時の感想でした。我々羽村市民は、今の景観が当たり前とっており、さほど違和を感じませんが、よそから来られた方は、強く感じるのではないのでしょうか。美しい多摩川に行くには西口が玄関です。西口を降りると交番以外に目に入る様な建物がなく、離れた所に農協があるのみです。広場は鉄のパイプで仕切られ、その間を迷路の様な一方通行があり、道路は狭く下水道の蓋の上を歩く歩道、商店らしい商店は見当たらず「ゴーストタウン」と言われても仕方ないな一と思います。</p> <p>私の小さいころ（昭和30年代）は、西口のみが駅出口で、不動産屋、タクシー乗り場、本屋、魚屋、食堂、床屋、スーパーマーケットまでできました。あの頃より寂れてしまっていることは、区画整理事業に問題があったと言わざるを得ません。</p> <p>そこで次の提案をします。橋本市長が公約でお話ししていた「前例に捕らわれない」ことを考え、西口に駅ビルの建設をしてはどうかということです。</p> <p>1階、交番・農協窓口・コンビニ・ファーストフード店・スーパーマーケット、2階、医院・保育所・農協本店業務・その他一般募集、3階以上、分譲マンション</p> <p>※予算の観点から何階建てが妥当かは専門家に委ねます。</p> <p>この建物が出来ると日照等不利益になる方は、優先的にマンションの希望の部屋に入っていただくことは言うまでもありません。</p> <p>駅まで10m通勤に便利、ビル内で買い物ができる、保育園がありお医者さんもいるので、安心して子育てができるという</p>	<p>第六次羽村市長期総合計画は、「基本構想・基本計画・実施計画」の構成で策定することとしています。</p> <p>今回、意見募集を実施した基本構想は、「羽村市の目指すべき将来の姿」と「その実現に向けて大切に考える考え方や取組みの視点」を定めるものです。</p> <p>「羽村駅西口に駅ビルを建設する」とのご意見につきましては、今後、「基本構想」に掲げる将来のまちの姿の実現に向けて定める「基本計画・実施計画」の策定における貴重なご意見として取り扱わせていただきます。</p>

羽村市基本構想（案）の意見公募手続の結果について

	話を聞けば、入居希望者が殺到すると思います。是非実現してほしいと願っております。	
2	<p>○投資計画</p> <p>基本構想における「将来像」は目指したい理想を語っていません。行政が提供するサービスの目標となるものですが、同時に投資計画もなければ夢物語です。</p> <p>日本あるいは東京都、西多摩における羽村市の社会経済的役割は何か。その役割をしっかりと果たすことによって羽村市の価値を高め、収入増を期し、その財源によって市民サービスを提供できます。持続可能な市政は収支バランスと同時に収入増追求という考え方が基本構想の中に組み込まれるべきです。</p>	<p>基本構想では、羽村市がまちづくりの転換期にある中で、市と市民・事業者が将来のまちの姿を共有し、これからのまちづくりを一緒に進めることができるよう、私たちのまち“はむら”の将来像を示すとともに、その将来像の実現に向けた基礎自治体としての運営方針として「自治体運営の方針」を掲げています。</p> <p>この自治体運営の方針における「健全な財政運営」の取組みでは、新たな財源の確保や行政サービスの見直しなどの視点を定めております。</p> <p>なお、財政計画については、将来像の実現に向けた取組みの方向性や個別事業を示す「基本計画・実施計画」と合わせて、示していくこととしています。</p>
3	<p>○人口増、企業誘致</p> <p>羽村市の社会経済的役割は、「1. 基本構想策定の趣旨」の最初の文にあるように、企業の立地と、その勤労者の生活のまちであると思う。その役割を充実させる投資によって、新時代の企業誘致と新住民の要望に応え、市民税収の増加を目指す必要があります。近隣自治体との競争と協調が必要です。（例えば、都内のリモートワークの世帯をわが町で受け持つか、自然豊かなあきる野市や青梅市にお願いするかなどの議論はしておかねばなりません。人口増を目指すは近隣自治体との競争であり、羽村市の独自性を打ち出すべき。と同時に近隣自治体と協調する企画を立てるべきです。羽村市だけでは羽村市人口を増やすことはできない面もあります。）</p> <p>（また、定住人口増は期待しづらい社会情勢となっていますが、目標から外すことは適当でないと思います）</p>	<p>市では、第六次羽村市長期総合計画の策定に向けて、第五次羽村市長期総合計画の進捗状況の確認や、将来人口の推計結果などをまとめた「第六次羽村市長期総合計画基礎調査報告書」を作成し、公表しています。</p> <p>近年、羽村市の人口は減少傾向にあり、人口推計では、引き続き減少していくことが見込まれています。</p> <p>市では、こうした状況を踏まえた上で、将来のまちの姿の実現に向け、5つのコンセプトに沿ったまちづくりを進めていくこととしております。</p> <p>「人口増を目指す」ご意見につきましては、「基本計画・実施計画」の策定における貴重なご意見として取り扱わせていただきます。</p>

羽村市基本構想（案）の意見公募手続の結果について

4	<p>○コンセプト「誰一人取り残さない」</p> <p>羽村市の社会経済的役割は、日本および世界の目標に貢献することでもあります。本基本構想においてSDGsの目標が検討されたか疑わしい。</p> <p>SDGsでは、「誰一人取り残さない」、そして「最も遅れているところに第一に手を伸ばす」ことが原則とされています。この原則は日本の官民の政策・計画にも多く取り入れられています。</p> <p>日本の所得格差の主因は、非正規労働、1人親、高齢者世帯等で相対的貧困が進行していることです。母子家庭がその典型で、子どもの貧困が進んでいます。所得再分配政策は充実させていかねば社会が壊れます。本基本構想では、福祉はコンセプト「自分らしく生きる」に入っていますが、貧困がこのコンセプトに相応しいとは思えない。「誰一人取り残さない」コンセプトを立ち上げて、福祉を重点に据える基本構想であってほしい。</p>	<p>SDGsは、一つの分野のみならず、教育、環境、産業、経済、健康、福祉など、まちづくりの根幹となるさまざまな分野に関係するものであり、第六次羽村市長期総合計画を策定していく上で前提とすべきものと考え、「第六次羽村市長期総合計画基礎調査報告書」の中に記載し、共有しています。</p> <p>SDGsの目標は、市が進める具体的な取組みと合わせて整理することが重要であると考えておりますので、「基本計画・実施計画」を策定する中で、位置付けていくこととしています。</p> <p>今後のまちづくりでは、市と市民・事業者が一緒になって、分野・組織横断的な視点のもとに、将来のまちの姿の実現に向けて取り組んでいくことが重要です。</p> <p>「子どもの貧困などの福祉分野に関する取組み」のご意見につきましては、「自分らしく生きる」「成長をはぐくむ」のコンセプトの中で、横断的な視点に基づいて取り組んでいくことが重要でありますので、「基本計画・実施計画」の策定における貴重なご意見として取り扱わせていただきます。</p>
5	<p>○羽村市らしさの追求</p> <p>この基本構想の中の“羽村市”という単語を“福生市”と置き換えても成り立つ。或いは“多摩川”“都市基盤”もいっしょに代置するなら他の自治体一般に成り立つ文章です。</p> <p>羽村市らしさを出すべきではないか、現状で出せないなら出すようにするという目標が必要だと思います。</p>	<p>第六次羽村市長期総合計画の策定にあたっては、市民ワークショップなどの市民意見聴取の取組みを通じて、羽村市の強みや弱み、これからのまちづくりに期待することなど、さまざまな意見や考えを聞かせていただいています。</p> <p>羽村市長期総合計画審議会でも、市の独自性や特色を盛り込むことな</p>

羽村市基本構想（案）の意見公募手続の結果について

		<p>ど、さまざまな観点から審議を行っていただきましたが、「羽村市らしさ」として市民・事業者が感じるものは、それぞれの立場や考え方によってさまざまにある中で、基本構想は、すべての市民で共有する必要があるとの観点から、羽村市基本構想を策定したものであります。</p> <p>「羽村市らしさを出す」とのご意見につきましては、「基本計画・実施計画」の策定における貴重なご意見として取り扱わせていただきます。</p>
6	<p>○追記</p> <p>① 自治体DXが近々実施されることに準備した「新たな時代」等の記述は大変好ましいと思います。</p> <p>② 「6.自治体運営の方針」は、長期総合計画を単なる文書に形骸化させないために重要だと思えます。そう考えると、「2.財政」のみならず、人事や定期的PDCAも重要です。</p> <p>その1例として、第5次羽村市長期総合計画（2012～2021）のPDCAを実施し、本第6次羽村市長期総合計画策定に活用してください（序論）。</p>	<p>基本構想の策定の趣旨に記載したとおり、人口減少、少子高齢化の進行、ICTの進展などにより、日常生活や地域経済を取り巻く環境が大きく変化しており、羽村市はまちづくりの転換期を迎えています。</p> <p>こうした状況を踏まえ、これからの新たな時代のまちづくりを展望していくことが重要であると考えています。</p> <p>また、5つのコンセプトに即したまちづくりを進めていく上では、自治体運営の方針と合わせて、市の組織や人事のあり方、計画事業の評価・進行管理も重要です。「基本計画・実施計画」の策定と並行して、効果的なPDCAなどについて検討していきます。</p> <p>なお、第五次羽村市長期総合計画の進捗については、「第六次羽村市長期総合計画基礎調査報告書」に取りまとめ、公表しています。</p>
7	<p>私も「人と人との繋がりを大切にすること」に賛成いたします。「自分らしく生きる」「成長を育む」ことに力を入れれば、自然と「にぎわいを創る」「暮らしを守る」ことにも繋がると思えます。</p>	<p>これからの時代は、生活スタイルやコミュニケーションのあり方が今以上に変わっていくことが予想されていますが、日々の暮らしや活動</p>

羽村市基本構想（案）の意見公募手続の結果について

	<p>そこで私自身、子供を含め性別・国籍・人種・職業などの違いや障害の有無によって、市内で生きづらさを感じている人達に寄り添う気持ちを大事にしていきたいと思います。</p> <p>羽村市には多様な価値観を認め合い、1人1人が自分と誰かの人生をより良くしていくための環境づくりを頑張してほしいと思います。</p> <p>抽象的ですがイベント時以外の日常生活でも積極的にコミュニケーションを取れるように、ICT環境を整備して誰もが平等に触れ合えるような交流の場をインターネット上に作って頂きたいです。</p> <p>チャットやビデオ通話などを活用してオンライン上で築かれた関係性は、良くも悪くも現実に影響を及ぼすと考えていますが、「一步踏み出す勇気と力」を持って乗り切っていきたいと思います。</p> <p>ご検討の方よろしくおねがいたします。</p>	<p>の中で、「人と人とのつながり」を大切にすることが必要と考え、基本構想の中で、「私たちが大切にしたい」の一つとして、定めています。</p> <p>その上で、「もっと！くらしやすいまち」の実現に向け、市と市民・事業者が一緒になって、「自分らしく生きる」「成長をはぐくむ」といった5つのコンセプトに基づく取組みを進めてまいります。</p> <p>「ICTを活用した交流の場について」のご意見につきましては、「基本計画・実施計画」の策定における貴重なご意見として取り扱わせていただきます。</p>
8	<p>基本構想を読ませていただき、疑問に思ったことがありましたので、意見を提出させていただきます。</p> <p>（1）基本構想策定の趣旨</p> <p>最後の段落に、「新たな“羽村市の未来”に向け、新しい時代の変化に対応し、将来を見据えた羽村市の総合的かつ計画的なまちづくりの指針として、また、今後10年間の市と市民・事業者の行動の指針として、基本構想を策定します」とあり、まちづくりの指針と行動の指針の両方が位置付けられているものなのか、分かりづらいものだと感じました。</p> <p>両方を位置付ける必要があるのか、疑問に感じます。</p>	<p>まちづくりは、市だけが取り組むものではなく、将来のまちの姿の実現に向けて、市と市民・事業者が連携して取り組んでいくものであると考えております。</p> <p>そうした点から、基本構想策定の趣旨の中で、「市と市民・事業者が将来のまちの姿を共有し、堅実な財政運営を行いながら、将来のまちの姿の実現に向けた歩みを進めることが大切です」と記載しておりますので、その考えを前提とする記述に修正させていただきます。</p>
9	<p>（2）コンセプト にぎわいを創る</p> <p>にぎわいを創るの「先端技術産業が集まるまちを目指す」の記述の中に、「都市計画と産業振興の両面から」とあります。</p> <p>現状の羽村市は必要な都市基盤が整ったまちだと感じており、これからは、企業や商店、市民が、活動しやすく暮らしやすい環境を整えていく視点が大切なのではないかと感じました。</p>	<p>コンセプト「にぎわいを創る」では、市内経済活動の基盤強化や市内産業の活性化を図り、羽村市を訪れる人との交流の輪を広げることで、にぎわいがあふれるまちを目指すとしており、産業の振興を図ることを中心に置いています。</p> <p>産業の振興を図るために、都市計画の面からもできることを考えていくことが大切であると考えており</p>

羽村市基本構想（案）の意見公募手続の結果について

		ますので、記述を修正させていただきます。
10	<p>この度羽村市長期総合計画審議会を経て示された「第六次羽村市基本構想（案）」につきましては、羽村市の将来像やその実現に向けての考え方、取組みの視点などについて示されており、構想（案）については同意できるものであります。</p> <p>つきましては、今後、基本構想に基づき、基本計画を策定していくこととなりますが、第四次及び第五次の基本計画等において市の最重要施策に位置付けられている「羽村駅西口土地区画整理事業の推進」を、第六次長期総合計画における「基本計画」に継承していただきたく要請するものです。</p> <p>羽村駅西口土地区画整理事業は、関係する様々な法的手続きのもと、東京都の事業認可を受け平成15年4月に事業計画を決定し18年余が経過している今日にあって、実施計画に沿って区画街路築造工事等が進められ、完成した道路に接しては新築家屋が立ち並び、良好な市街地が形成されつつあります。このことは事業施行者の羽村市や関係権利者を始め、事業地区内に居住する方々並びに羽村駅を利用する多くの方々のご理解、ご協力によるものであります。</p> <p>将来を見据え、羽村駅西口は羽村の象徴ともいえる羽村堰に通じる玄関口として、本事業のテーマである「美しく快適で住みよい安心安全なまち」の創出にその一步を踏み出したばかりであり、多くの市民がその完成を待ち望んでおります。</p> <p>ここで、これから策定する第六次長期総合計画においては、前期基本計画及び実施計画を継承し、羽村駅西口地区の良好なインフラ整備されたまちづくりをめざし、数十年にも長きにわたった市民の負託にこたえていただく様、要請するものです。</p>	<p>基本構想では、私たちのまち“はむら”の将来像として、「まちに広がる笑顔と活気 もっと！くらしやすいまち はむら」を掲げており、その実現に向けて、5つのコンセプトに基づく取組みの方向性を記載しています。</p> <p>「羽村駅西口土地区画整理事業について」のご意見につきましては、「スマートにくらす」「くらしを守る」「にぎわいを創る」といったコンセプトの推進を図る「基本計画・実施計画」の策定における貴重なご意見として取り扱わせていただきます。</p>
11	<p>基本構想全体を通じて共感できる内容だと感じています。</p> <p>細かい部分ですが、表現が気になったので意見を出させていただきます。</p> <p>1ページの「実現を目指す将来のまちの姿」の文章で、「そこには、市民、事業者、地域が、お互いを認め合い・・・」とあります。市民・事業者は分かりますが、地域がお互いを認め合うという部分は表現に違和感を覚えました。</p> <p>また、4ページの「スマートにくらす」の文章の中で、「9平方キロメートルの市域に・・・」とありますが、羽村市の面積は四捨五入すると10平方キロメートルだったと記憶し</p>	<p>ご意見をいただいた基本構想に記述した表現・内容については、修正させていただきます。</p> <p>羽村市の面積は、9.9平方キロメートルですので、正確に記載してまいります。</p>

羽村市基本構想（案）の意見公募手続の結果について

	<p>ています。</p> <p>言葉を使い分けていると思われるところもあり、些細なところですが、気になってしまったので、意見を提出させていただきました。</p>	
12	<p>この度羽村市長期総合計画審議会を経て示された「第六次羽村市基本構想案」につきましても、羽村市の将来像やその実現に向けての考え方、取組みの視点などについて示されており、未来を築く5つのコンセプトをもとにして謳われております。</p> <p>大いに賛同するものです。</p> <p>ここで構想案の要旨の抜粋をし、意見書の趣旨の関連といたします。</p> <p>1. 自分らしく生きる</p> <p>①性別や国籍にかかわらず、多様な価値観を認め、尊重するまちを目指します。</p> <p>②多様な価値観や文化の違いを受け入れ、認め合うことができるよう、男女共同参画や国際理解、多文化共生の推進に取り組めます。</p> <p>2. 成長をはぐくむ</p> <p>①子どもたちがすこやかに成長するまちを目指します。</p> <p>②すべての子どもがすこやかに成長することができるよう、子どもの成長段階に応じた支援の充実に取り組めます。</p> <p>3. にぎわいを創る</p> <p>①人が集まり、交流を生むまちを目指します。</p> <p>多くの人が集い羽村市に関わる人との交流を生み、まちに活気やにぎわいを創ることに取り組めます。</p> <p>今後は基本構想案に基づき6次長期総合計画の策定にあたり、この数年羽村市が取り組んできたキルギス親善友好の輪（レガシー）をさらに継続的に推進し明日のはむらを担う子どもたちの為、国際交流の灯をともしていくことを要請するものです。</p>	<p>基本構想では、私たちのまち“はむら”の将来像として、「まちに広がる笑顔と活気 もっと！くらしやすいまち はむら」を掲げており、その実現に向けて、5つのコンセプトに基づく取組みの方向性を記載しています。</p> <p>「キルギス共和国との国際交流について」のご意見につきましては、「自分らしく生きる」「成長をはぐくむ」「にぎわいを創る」のコンセプトの推進を図る「基本計画・実施計画」の策定における貴重なご意見として取り扱わせていただきます。</p>
13	<p>私は羽村市の中学校を卒業しました。当時の担任の助けもあり、仲間と共に校外でのボランティア活動をすることができました。</p> <p>その時の経験がベースとなり、現在、さまざまな活動をさせてもらうことに繋がっています。</p> <p>それらの経験を経て思うことは、たくさんありますが、中でも「教育」に関して課題があると強く感じます。</p>	<p>基本構想では、私たちのまち“はむら”の将来像として、「まちに広がる笑顔と活気 もっと！くらしやすいまち はむら」を掲げており、その実現に向けて、5つのコンセプトに基づく取組みの方向性を記載しています。</p>

羽村市基本構想（案）の意見公募手続の結果について

<p>平和で豊かな日本にしながら、たくさんの不安を抱え、将来に希望や夢を持つことができず、誰かの指示がなければ動けない受け身の子どもが多い昨今、「自己肯定感」の低さも課題のひとつだと思います。これは学校教育だけで培われるものではなく、家庭での多様な経験や地域社会の中で見守られることにより、子どもたち一人ひとりの存在意義を感じられるのではないのでしょうか。</p> <p>さらに、教育格差も重要な課題です。親の収入などによる格差が子どもの教育環境にも反映され、生まれ育った環境により、受けることのできる教育に生じてしまう格差があります。この教育格差が悪化していくと生まれた瞬間からその人の人生が限定されることもあり、特に低所得・貧困層にとっては厳しく、進学したくても出来ないケースがあるのが現状です。生保受給者には福祉面での支援がありますが、コロナ禍で収入が減ったご家庭や、兄弟が多い、生保までではないが生活に余裕がなく、塾代が払えないなどあるのではないのでしょうか。</p> <p>そして、それとは別になりますが、教育を受ける権利があるのに、できない子どもたちがいます。羽村市は不登校児童や生徒はそれほど多くないと思いますが、ゼロではありません。その中には発達に障害をもっているため、対人関係がうまくいかず学校にいけない子どももいます。</p> <p>そのような子どもたちを一人でも減らしたいと思い、民間で学習支援や、安心して過ごせる子どもの居場所作りをしていきたいと思っています。</p> <p>令和元年に文部科学省から通知された不登校児童生徒への支援の在り方についてもあるように、フリースクールなどの民間施設やNPO 等との連携をすることにより、不登校でも学校以外でも、一定の条件を満たせば出席扱いになるようになりました。</p> <p>現在、ハーモニースクールがありますが、そこにも行けない子どもたちや勉強をしたいけど塾にいけない、自分の部屋がない、家にいるとゲームばかりやってしまう…などの子どもたちが安心して過ごせる場所をつくりたいと思っています。</p> <p>少しずつその輪が広がり、本来必要としている子どもたちの場になることを願っています。</p> <p>話は少し逸れます。羽村市市民提案型協働事業をされていますが、やはりそれぞれの団体が運営、継続していくことは本</p>	<p>「子どもたちの成長などに関する教育の支援について」のご意見につきましては、「自分らしく生きる」「成長をはぐくむ」のコンセプトの推進を図る「基本計画・実施計画」の策定における貴重なご意見として取り扱わせていただきます。</p>
---	---

羽村市基本構想（案）の意見公募手続の結果について

<p>当に大変で、素晴らしい活動が閉ざされてしまい残念に思っています。</p> <p>それらを統括する「地域協働型子ども包括支援」を構築されることを望みます。</p> <p>新たに何かをつくるのではなく、学校、児童館、子ども家庭支援センター、学童、地域で活動される団体や個人の方々の連携をし、羽村市の包括支援体制を整えてはいかがでしょうか。</p> <p>このような動きはゼロからスタートするのは容易ではありません。全国に目を向けてみるとすでに活動されている全国規模の団体があります。たとえば、全国子どもの貧困、教育支援団体協議会では、そのような教育支援活動に関わる、現場の運営、事業戦略の立案・実行、組織基盤の整備・強化、財政基盤の確立・強化について伴走支援をしてくれます。そこに加盟するには、教育支援を行う団体でなければできません。私、個人ではどうにもなりません。</p> <p>まず、羽村市民で似たような志のある方に出会い、話し合いながら、そのようなアドバイスを受け学びつつ私たちの住む羽村バージョンの支援体制をつくっていきたいと思います。</p> <p>子どもたちのために関わっていきたい市民の方々とそして、市と、事業所と協働して、羽村市ならではの子どもの教育支援をつくっていければと思います。</p> <p>私は普通の主婦ですが、2人の子どものもつことで、教育に興味をもち、息子たちと一緒にいろんなことを学んできました。</p> <p>こうしてみると、知らず知らずのうちに生涯学習の喜び、楽しさを経験してきているのだなあと。2人の息子は成人したのもあり、これからは、より地域子どもたちに目を向けて全面的に協力していきたいと思っています。</p>	
---	--